

第6学年西組総合的な学習指導案

6年西組教室 指導者 犬塚 創太

1 単元 荻谷を救え！スマイル防災プロジェクト！

2 単元の目標

- (1) これから起こるかもしれない災害に危機意識をもち、自ら地域や周りの人のために役立とうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 災害時の状況を想定し、今の自分たちに何ができるのかを考え、発信したり実行したりすることができる。(思考・判断・表現)
- (3) 様々な立場の人から防災に対する考えを聞くことで、災害時に自分たちがすべきことを理解することができる。(知識・理解)

3 子どもと教材のとらえ方

本学級の児童(男子19名、女子14名)は、1学期に行われた家庭教育学級で、新聞紙を使って防災グッズを作ったり、身の回りのもので担架を作ったりするなど、防災について学ぶ機会をもった。多くの子が楽しみながら、防災についての知識を得ることができ、満足している様子だった。しかし、子どもに防災についてのアンケートを取ってみると、家具が転倒しないように固定したり、非常用持ち出し袋を用意したりと、災害に備えている子(諒、和輝、美羽)がいる一方、自分が行っている防災対策が一つも思いつかない子(葉、康介、美咲)もあり、子どもの中で防災に対する意識に差があることが分かった。このままでは、災害が起きた時に何をすればよいか分からない子も出てくると思われる。実際の災害について真剣に考え、自ら防災対策を講じるようになってほしい。

本学年の総合的な学習は、「輝かせよう！スマイルプロジェクト」をテーマに活動をしており、その活動の一環として防災について追究するグループがある。本単元では、まず、防災グループが企画した「防災わくわく講座」により、全校に家庭教育学級で学んだことを伝える。この時、子どもたちの意識は、実際の災害について深く考えているというよりも、うまく発表する方にあると考えられる。そこで、災害で壊れた建物や避難所の写真をもとに、災害の様子を伝えることで、自分たちの防災対策がまだ足りていないことに気づかせる。さらに、防災対策について深く知るため、地域の防災委員の方から話を聞く。自分の周りにどんな人が住んでいるか知っておく必要があることや、避難所ではお年寄りや小さな子の相手をしてほしいことなど、小学生に望まれていることを知る機会としたい。その後、どんな防災対策をしていく必要があるかを考え、地域の人とともに学区防災訓練に参加し、考えたことや学んだことを発信していく。本単元を通して、災害に危機意識をもち、家族や地域の方とともに災害時にすべきことを考え、実行できる子に育ってほしい。

本時は、学区防災訓練の発表の内容を決めていく場面である。まず、個々で考えた内容を発表し、似ている内容に名前マグネットを貼っていく。この際、前時の付箋による意見交流の経験をもとに、自分たちで内容を分けていってほしい。次に、学区防災訓練で発表できる時間は5分であることを伝える。いくつの内容が発表できるか、だれに向けて発表するか考える中で、発表にふさわしい内容を選んでいってほしい。

4 指導計画(17時間)

- (1) 全校に向けて、防災わくわく講座を開こう！・・・・・・・・・・・・・・7時間
- (2) まだできることはないか、地域の人に話を聞こう！・・・・・・・・・・・・・・4時間
- (3) 学区防災訓練で荻谷を災害から救う方法を伝えよう！・・・・・・・・・・・・・・7時間(本時3/6)

5 本時の学習

(1) 目標

学区防災訓練での発表時間や参加する人などの条件に合わせて、発表にふさわしい内容を選ぶことができる。

(2) 準備

児童…ワークシート

(3) 学習過程 (45分)

時	学習活動 (発問と予想される反応)	教師支援と評価 (※)
0	1 本時のめあてを確かめる。 学区防災訓練の発表の内容を決めよう。	・似た考えの子と意見交流できるように、席を近くしておく。
2	2 個人で考えた発表の内容を伝え、グループに分ける。 ・それぞれの区や学区で備えてある食料が思ったより少なかったから、家庭での備えを呼びかけたい。 ・家具の固定をまだしていない人も多いので、みんなで呼びかけてけがする人を減らしたい。 ・芦谷区では組や班で逃げていくと知ったから、どこの地区でも近所の人を誘い合って逃げていくように呼びかけたい。	・自分の発表したい内容と比べさせるために、似た内容に名前マグネットを貼らせる。 ※自分の発表内容と全体で出てきた発表内容を比べることができたか。
12	3 発表した発表の内容について長所や短所を話し合う。 学区防災訓練にふさわしい発表内容はどれだろう。 ・5分しかないなら出てきた意見すべて発表はできないな。 ・入れられる内容は2つか3つくらいじゃないかな。 ・学区防災訓練に参加する人は組長や区長などが多いから、トイレや防災倉庫などについて呼びかけるといいと思う。 ・家庭での備えは学校の放送とかでも呼びかけられる。 ・近所で助け合って逃げる互助は、自分たちもやるから、地域でもやろうと呼びかけられるよ。	【山場作り】発表の時間は5分であることを伝え、訓練の参加者や場所といった条件から発表にふさわしい内容を考えさせる。 ・発表の時間や場所などの条件を黒板に貼り、全員で共有する。 ・はじめ考えていた発表内容がふさわしい内容か考えるため、同じグループの子で話し合う。
40	4 発表の内容にふさわしいと思うものを選び、理由とともにワークシートに書く。 ・はじめは、家庭での備えが大事だと言うことを発表したかったけど、組長や区長さんに防災倉庫の不安を伝えるのも大切だと思った。	※学区防災訓練の条件に合わせて選んだ内容を、根拠をもって発表し、友達に伝えることができたか。

(4) 評価

B：発表時間や参加者などの条件に合わせてふさわしい内容を選ぼうとすることができる。

A：学区防災訓練の条件に合わせて選んだ内容を、根拠をもって発表し、友達に伝えることができる。

○ 本時の視点

学区防災訓練での発表時間を示したことは、条件に合った発表内容について根拠をもって発表し、ふさわしい内容を選ばせることに有効だったか。